

第66回東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会報告

嚶鳴PTA副会長 岡崎 明

平成29年7月6日から7日、盛岡市民文化ホールを主会場に、東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会が開催されました。大会では、それぞれの活動について意見を交換し、交流を深めました。さらに、その成果を各校に持ち帰り、実践活動に反映させることで、子どもたちの健全育成をめざすことを再確認しました。

7日の午前には、大会テーマ、「描け ドリームマップ」～世界への架け橋を郷土から～にあわせ、各県の代表より事例発表がなされました。現在各地で、新しい発想による街づくりや産業振興への取り組みが進められておりますが、この変革の時代に、心豊かにたくましく生きる高校生の育成が求められています。

私は、大震災を経て若者の郷土を愛する気持ちが強くなっている今こそ、地域の特徴、地域の力を生かし、若者に夢を持たせ、育てることが大事ではないだろうかと思えます。私たち大人は、社会と若者との架け橋となり、若者が自信をもって能力、個性を発揮し、郷土のために、世界のために、未来に向かって進んでいけるよう応援して行くことが大事だと痛感させられた大会でした。

